

平成30年度事業報告書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

公益目的事業1 平和普及啓発事業

1. 講演会等の普及啓発

(1) 2018年度五井平和財団フォーラム

開催日 平成30年11月23日(祝・金)

場 所 東京都千代田区 日経ホール

テーマ 「いま、明日をつくる」

参加者 日経ホール 約600名 28カ国の大使館

内 容 開会挨拶 理事長

国際ユース作文コンテスト授賞式と発表

「私が起こしたい変化」

五井平和賞授賞式ならびに受賞記念講演

ララ・ハスナ モロッコ王国王女／モハメッド6世環境保護財団代表

リレートーク「志からアクションへ」

松崎英吾／NPO法人日本ブラインドサッカー協会専務理事兼事務局長

村田早耶香／認定NPO法人かものはしプロジェクト共同代表

西辻一真／(株)マイファーム代表取締役 CEO

西園寺昌美／五井平和財団会長

ファシリテーター 西園寺裕夫／五井平和財団理事長

(2) 東京講演会

「講演会シリーズ：21世紀の価値観」

① 第52回講演会

講 師 半谷 栄寿 一般社団法人あすびと福島代表理事

開催日 平成30年6月14日(木)

場 所 東京都千代田区 いきいきプラザ一番町カスケードホール

テーマ 福島の明日を創る人材が育つ場の創生

参加者 94名

② 第53回講演会

講 師 鬼丸 昌也 NPO法人テラ・ルネッサンス 理事・創設者

開催日 平成30年9月21日(金)

場 所 東京都千代田区 いきいきプラザ一番町カスケードホール

テーマ 国際支援の現場から学んだ、ひと・チーム・世界の変え方

参加者 133名

③ 第54回講演会

講 師 船橋 真俊 物理学博士、ソニーコンピュータサイエンス研究所リサーチャー

開催日 平成31年3月1日(金)

場 所 東京都千代田区 いきいきプラザ一番町カスケードホール

テーマ 協生農法—食糧生産の革新に基づく、健康と平和の創出に向けて

参加者 200名

④ 特別講演会

8.8 本当の平和ってなんだろう 映画「純愛」上映会と対話会
開催日 平成30年8月8日(水) 13:00~17:00
会場 国連大学 ウ・タント国際会議場
トークセッション ジュリア・オルソン、雨宮優、吉岡利代
参加人数 331名

(3) 2018年度五井平和財団会員総会「報告と感謝の集い」

開催日 平成31年2月24日(日)
場所 整形外科井上病院 会議室(熊本県熊本市)
参加者 賛助会員・一般 58名
内容 財団のビジョンと事業報告、参加者と財団職員のグループ別懇談など

(4) 賛助会員活動の推進

①ボランティア活動

ーコミュニケーター制度
コミュニケーター通信 Vol.30~Vol.32 発刊
ー地方懇談会
平成30年9月15日(土) 鳥取県倉吉市 10名
9月16日(日) 兵庫県姫路市 30名
平成31年3月 9日(土) 三重県四日市 14名
3月10日(日) 岐阜県岐阜市 16名

②Living New ワークショップ

人が輝ける生き方を応援し、人と人、人と社会をつなげながら、新しい未来
をつくっていくプロジェクト

- あるがままの自分を知る・気づく・見つめる場の提供
- 人の在り方、考え方、感じ方の多様性を共感、共有する場の提供
- 自分の特性を社会に活かすサポート

オープンカフェ東京 平成30年7月28日(土) 台風のため中止

平成31年1月26日(土) 22名

オープンカフェ熊本 平成31年2月23日(土) 34名

LNコース 第11期 6名

平成30年4月7日(土)、4月21日(土)、

LNコース 第12期 6名

平成31年3月16日(土)、3月30日(土)、

LNコース修了生の会

平成30年8月25日(土) 20名

(5) 国際理解に資する交流事業

① 国連・ユネスコとの交流事業 <詳細は公益目的事業2の項目4で報告>

ユネスコ ESD-GAP パートナー・ネットワーク参画

*ESD (持続可能な開発のための教育: Education for Sustainable Development)

*GAP (ESD に関するグローバル・アクション・プログラム: Global Action Program)

② 国際機関・海外民間団体との交流事業

- カザフスタン初代大統領財団／カザフスタン
 - 9月19日 次世代リーダー育成のための協働に関する契約調印式
 - 9月20日 初代大統領財団・世界経済政策研究所主催
円卓会議「核軍縮に向けたカザフスタンと日本の協力一つの
運命と共通の目標」で西園寺裕夫理事長がスピーチ
- モハメッド6世環境保護財団／モロッコ
 - 環境教育、平和と持続可能な開発のための教育(ESD)に関する協働プロジェクトとして、日本・モロッコ両国の先進的な環境教育を推進する学校間交流
 - ケイ・インターナショナル／アブデルモーメン小学校
 - 大田区大森第六中学校／ヒザム・アクダル小学校
 - 五井平和賞受賞者ララ・ハスナ モロッコ王国王女による大田区大森第六中学校のESD活動視察ならびに国際交流
 - 気候ならびに持続可能な開発に関するモハメッド6世賞選考委員に西園寺裕夫理事長が就任
- MIT 世界平和大学主催 科学・宗教・哲学の世界議会／インド
西園寺裕夫理事長が「普遍的価値観に基づいた教育システムの必要性」に登壇

③ ヨーロッパ拠点活動

ヨーロッパ代表(ミュンヘン)における財団事業の展開

国連、パリュネスコ本部等国際機関との窓口

- ワールド・ピース・フォーラム&トロント・ワールド・リーダーシップ・フォーラム
4月19日～22日(トロント・カナダ)
パネルディスカッションのモデレーター、参加者がメッセージを記入してピースポールを作成、国旗カードを使用したピースセレモニー
- ルクセンブルク平和賞授賞式
6月22日(シェンゲン市・ルクセンブルク)
ピースセレモニー

④ May Peace Prevail On Earth International* (姉妹団体) 日本オフィス活動協力

*2019年1月ワールド・ピース・プレーヤー・ソサエティから名称変更

-第26回広島ピースセレモニー

8月6日(月) 広島市原爆ドーム東側広場

約500名の参加者

吉川里香 WPPS 副理事長スピーチ

-第19回長崎ピースセレモニー

8月9日(木) 長崎平和公園

約500名の参加者

吉川里香 WPPS 副理事長メッセージ代読

-ワンコリア・ワンワールド

10月27日(土) 韓国国境付近のパジュ市・平和ヌリ公園

インターネット中継を含む、延べ4000人以上が参加

フラッグセレモニーとピースポール贈呈、ジェームズ・トワイマン氏による世界同時瞑想

- 日本語ウェブサイトおよびメールマガジン等による情報発信
<http://www.worldpeace-jp.org/>

- 7 Million Actions and Prayers

対象となる国の長所や課題、支援活動等を当事者から語ってもらい理解を深める「まなび」、その国を含めた世界 191 カ国に平和のメッセージを贈る「ギフト」、対話を通じて参加者同士の共感、プロジェクトの協働等を促す「つなぐ」の3部構成のプログラム

メキシコ/5月21日 文京シビック会議室 16名

アメリカ・インド/5月24日 文京シビックスカイホール 16名

-賛助会員平和普及自主活動

年月日	活動内容
2018.4.14	イスラエルのパレスチナ自治区バティール村のエコミュージアムショップにピースポール贈呈
2018.4.21	アースデイ東京のハッピーアースパレードに May Peace Prevail on Earth の横断幕と国旗でパレード 参加 30 名
2018.4.21	サイパンのオレアイビーチで WPPC、4 か所のピースポール修復 参加 9 名
2018.4.21	アースデイズ高知 2018 のイベントにて WPPC 開催 参加 50 名
2018.5.26	神戸市ポートアイランド北公園にて開催の世界平和祈願祭に参加。WPPC と富士宣言を朗読 参加 200 名
2018.6.15	台湾のテーマパーク、嘉義市の夜市など 3 か所にピースポール建立 参加 10 名
2018.6.17	稚内市宗谷岬公園にて第 2 回稚内市 WPPC 開催 参加約 50 名
2018.6.22	岡山県倉敷市の圓通寺境内で WPPC 開催 参加約 50 名
2018.6.24	夏至の日のリレーWPPC 全国で 78 名参加
2018.7.16	福岡県星野村のアースキャラバン 2018 のイベントにてフラッグセレモニー 参加 100 名
2018.7.22	アメリカのニューメキシコ州サンタフェ市のコーネルパークにて WPPC 参加約 50 名
2018.8.10	札幌市の星置神社にピースポール建立 参加 12 名
2018.8.2～ 8.5	千葉県船橋市で行われた愛と平和の響き展にて、2017 年度ピースパル国際アートコンテストの作品を展示。参加約 300 名
2018.8.6	原爆の日に広島 WPPC 開催 参加 500 名
2018.8.6	原爆の日に広島 WPPC にリンクして高知で WPPC 開催 参加 10 名
2018.8.7	岡山県日詰山サムハラ神社にて第 3 回 WPPC 開催 参加約 100 名
2018.8.9	原爆の日に長崎 WPPC 開催 参加約 50 名
2018.8.22	ウクライナのキエフにて新聞社や出版社などにピースポール 3 本を建立参加 20 名
2018.9.16	フランス・ブルゴーニュにある和光神社の分詞奉祝際にて WPPC 参加約 50 名
2018.9.17	ポーランドのイエレニャ・グーラ高校でピースポール建立と WPPC 開催 参加約 400 名

2018.9.20	イスラエルのエルサレムにて重要な祭日であるヨム・キプル（贖罪の日）にトゥラン小学校にて、WPPC 開催 参加約 130 名
2018.9.21	国際平和デーに川田司駐ポーランド日本大使ご臨席のもと、平和の鐘の鐘打式ならびに桜の植樹
2018.9.24	ポーランドのワルシャワ郊外の日本式武道場にピースポール建立と WPPC 参加約 400 名
2018.9.22	オランダ・ヒルフェルムスの国際平和デーウィークにコミュニティセンターにピースポール建立 参加約 200 名
2018.9.23	岡山県岡山市中心部の石山公園にてピースフェスティバル 2018in おかやまを開催。ミニピースコンサートと WPPC を実施。県内外から参加 80 名。
2018.9.23	秋分の日のリレーWPPC で全国から参加 85 名
2018.9.24	岡山県さん太広場ホールにてフラッグセレモニー&ピースコンサート開催 岡山ユネスコ協会等 6 団体の共催
2018.9.30	無限なる健康への進化創造オープンカレッジにて WPPC と生命憲章朗読 参加約 40 名
2018.10.21	姫路駅のキャッスルガーデンにて WPPC 開催 参加約 200 名
2018.10.29	フィリピンのサンタ・マグダレン市の平和と環境ウォークラリーに May Peace の横断幕と世界の各国旗で参加 参加約 300 名
2018.12.22	福岡県北九州市小倉北区の郵便局の横にピースポールを建立 参加 10 名
2018.12.22	冬至の日のリレーWPPC 全国名で 85 名参加
2019.1.26	日本ウズベキスタン協会の新年会で、日本在住のウズベク人と交流し、ピースドール 100 体を一人ひとりに配布。 参加 150 名。
2019.2.24	地元ローガリークラブがテキサス A & M 大学コーパス・クリスティ校に、ハリケーンハービー被害者の追悼ピースポールを贈呈。
2019.3.21	春分の日のリレーWPPC 全国で 77 名参加
2019.3.30	和歌山県の高山寺にて第 3 回目の W P P C 開催 参加 50 名

(6) 「富士宣言」推進 (パートナー組織および事務局として)

① ソウル・オブ・ウィメン・グローバル・キャンペーン

- 「ソウル・オブ・ウィメン」会議
6月23日 スコットランド・ダンフリー
- バイオニアーズ・コンファレンスで「ソウル・オブ・ウィメン：男性性と女性性の調和の再構築」をテーマにパネルディスカッション
10月19日 70名参加
- ソウル・オブ・ウィメン・メンバーと五井平和賞受賞者との交流会
11月19日 11名参加

② オンラインによる **Conscious Business World Summit**

日本時間3月8日(金) 午前2時にライブ配信

主催：ヒューマニティズ・チーム (富士宣言パートナー団体)

プログラム：「ビジネスの世界に本当の変容をもたらす」をテーマに27名のパネリストがテーマ別にディスカッション

テーマ：コンシャス・ビジネス・デklarレーション—21世紀の新しいスタンダード
アーヴィン・ラズロ/ブダペストクラブ創設者
クリス・ラズロ/ファウラー・センター
スティーブ・ファレル/ヒューマニティズ・チーム代表
西園寺裕夫/五井平和財団理事長

(7) 各種情報媒体の活用

① 機関誌「平和の創造」発行

季刊 各約5,000部作成と発送

活動報告、新しい方向性、イベント情報等を掲載

② MPPOE ニュース発行

季刊 各約5,000部作成と発送

ピースメーカーの活動報告、キャンペーン情報等を掲載

③ インターネット・ソーシャルネットワークサービス (SNS)

<五井平和財団>

ウェブサイト刷新、フェイスブック (日英) 定期更新

YouTube 公式チャンネル (日英)

Flickr (フリッカー：オンラインアルバムサービス)

メールマガジン (日英) 発刊

<ESD ユース>

ESD 日本ユース・コンファレンスウェブページ/フェイスブック (日英) 定期更新

ESD 日本ユース・コミュニティ/フェイスブック定期更新

ESD ユース参加者運営の SNS

「ESD 日本ユース情報局」フェイスブック/ツイッター

ESD ユース地区ごとの LINE グループ

<地球っ子広場>

フェイスブック定期更新

<ユース・社会起業家コンペティション>

オンライン・コンペティション

オンライン・キャンパス

<富士宣言>

ウェブサイト/フェイスブック (日英西) 定期更新

メールマガジン/ツイッター (日英) 発刊

ソウル・オブ・ウィメン/フェイスブック (英)

<Living New>

ブログ定期更新

<平和科学調査研究会>

ウェブサイト（会員制）

<MPPOE>

ウェブサイト／フェイスブック定期更新

メールマガジン／ツイッター発刊

④各種行事の動画配信

- ・ 2018年度 五井平和財団フォーラム
「いま、明日をつくる」
- ・ 「講演会シリーズ：21世紀の価値観」 船橋真俊講演会

⑤各種行事のDVD制作

- ・ 2018年度会員総会DVD
- ・ 2018年度五井平和財団フォーラムDVD
- ・ 「講演会シリーズ：21世紀の価値観」 船橋真俊講演会DVD

2. 顕彰と助成

五井平和賞 ララ・ハスナ モロッコ王国王女
モハメッド6世環境保護財団（モロッコ）

ララ・ハスナ王女は、モハメッド6世環境保護財団の代表として、海岸の美化・保全をはじめ、持続可能な観光、大気汚染および気候変動にかかる取り組み、歴史的庭園の再生やヤシの木立の保護など、多岐にわたる実践的な環境保護活動にリーダーシップを発揮してきました。

また、特に子どもや若者の環境保護教育に注力し、幼少期から自ら考え、責任をもって行動し、社会や環境の問題を解決できる次世代の育成に成果を上げています。

「All for the Environment（全ての人々が環境のために）」をモットーに、行政、企業、学校、地域社会、若者・子どもなど、あらゆるステークホルダーを変化の担い手として動員し、環境保護を全国的な取り組みにまで高め上げるとともに、世界的には国際機関や各国の団体と協力し、持続可能な未来に向けた意識啓発に尽力し続けてきました。その功績に対し、五井平和賞を授与するものです。

■授賞式 平成30年11月23日（祝・金）2018年度五井平和財団フォーラムで実施

■選考委員

委員長	佐藤 禎一	東京国立博物館名誉館長・元ユネスコ特命全権大使
	明石 康	公益財団法人国際文化会館理事長・元国連事務次長
	有馬 朗人	日本科学技術振興財団会長・物理学者・元文部大臣
	近衛 忠輝	日本赤十字社社長
	西園寺昌美	五井平和財団会長
	田坂 広志	多摩大学大学院教授・シンクタンク・ソフィアバンク代表
	村上 和雄	筑波大学名誉教授・国際科学振興財団バイオ研究所所長

*敬称略・50音順

3. 研究会等の調査研究

(1) 平和科学調査研究会

①全体会 2回開催

ー各分科会成果発表

平成30年6月17日 ウィメンズプラザ視聴覚室 参加31名

- ・福島県の放射線の現状と放射線に関する基礎知識
- ・人類の未来と認知革命他

平成31年3月23日（土）アクセア半蔵門貸会議室・第1貸会議室 参加32名

- ・共生を可能にする人間構造とその「在り方」

②運営委員会 2回開催

全体会、分科会の方針、プログラム等討議決定

平成30年5月28日

平成31年2月26日

③分科会活動

- 幸せの価値観：情報収集、調査資料ジャンル別整理等
- 震災復興：震災から考える日本の未来と自然について調査
- 科学的事例調査：がん治療事例、宇宙太陽光発電等調査
- 平和へのシナリオ：平和へのプロセス研究・ディスカッション
- 自由研究：最先端物理学理解に向けた基礎理論の直観的把握

公益目的事業 2 平和教育事業

1. 国際交流プロジェクト

- (1) 群馬県立女子大学連携講座「国際理解と平和」
 平和について考える大使リレー講座
 通期火曜日 計15回開催
 受講者数 毎回約120名(学生、一般県民を含む)

開講日	講師(敬称略)	テーマ
5月8日	公益財団法人 五井平和財団 理事長 西園寺 裕夫	平和で持続可能な社会の実現に向けて
5月29日	認定NPO法人 日本紛争予防センター理事長 瀬谷 ルミ子	世界の課題に取り組む「平和構築」という仕事
6月19日	ハイメ・バルベリス 駐日エクアドル共和国特命全権大使	エクアドル文化の多様性
6月26日	アサド・マジード・カーン 駐日パキスタン・イスラム共和国特命全権大使	パキスタン: 平和・安定・発展への取り組み
7月3日	アホメド・アライタ・アリ 駐日ジブチ共和国特命全権大使	グローバル世界におけるジブチ文化の多様性
7月10日	ハサン・ムラット・メルジャン 駐日トルコ共和国特命全権大使	グローバル化時代での平和構築に向けたトルコの希望と取り組み
7月17日	寺田 朗子 国境なき子どもたち会長	私の出逢った子どもたち
7月24日	ソフィア＝ナムパ・ナンコンベ 駐日ナミビア共和国特命全権大使	ナミビアについて
10月9日	ミハイル・ユリエビッチ・ガルージン 駐日ロシア連邦特命全権大使	現代のロシアと日本
10月16日	加茂 佳彦 前駐アラブ首長国連邦特命全権大使	UAE から見えたこと
10月30日	安田 菜津紀 フォトジャーナリスト	写真で伝える仕事 災害、紛争の現場から
11月6日	フーベルト・ハイッス 駐日オーストリア共和国特命全権大使	核軍縮への人道的アプローチ
11月13日	レオン・マラゾーグ 駐日コソボ共和国特命全権大使	コソボ: 21世紀欧州で国を建国するチャレンジ
11月27日	明石 康 (公財)国際文化会館理事長 元国際連合事務次長	北東アジアの中の日本
12月11日	河野 雅治 日本国政府代表	オリンピック理想と世界の現実

(2) 駐日外交官による交流プロジェクト

実施日	実施校・参加人数	教育課程における位置付け	講師（敬称略）
平成30年 8月1日	東京都立大泉高等学校 11名	総合的な学習 探究活動	駐日タンザニア連合共和国大使館 全権公使 ジョン・F・カンボナ 観光担当官 白井一真
8月23日	千葉県葛南地区教育委員会連絡 協議会（八千代市市民会館） 約1,000名	教育講演会	駐日フィンランド大使館 一等書記官 アリ・ホンカネン
9月21日	東京学芸大学附属世田谷中学校 21名	総合的な学習	駐日パレスチナ大使／常駐総代表 ワリード・アリ・シナム
9月28日	愛知産業大学三河高等学校 約1,300名	学校行事	駐日インドネシア共和国大使館 公使 M. アバス リドゥワン
平成31年 1月26日	青梅市国際理解講座 56名	文化講座	駐日ロシア連邦大使館 アタッシェ ビクトリア・リャボワ

2. 2018年度 国際ユース作文コンテスト

ユネスコ・持続可能な開発のための教育（ESD）に関するグローバル・アクション・プログラム推進事業として実施

主 催 公益財団法人五井平和財団

後 援 文部科学省、日本ユネスコ国内委員会、NHK、日本経済新聞社、
日本私立中学高等学校連合会、東京都教育委員会

協 賛 株式会社フェリシモ、セイコーホールディングス株式会社、プラス株式会社

テーマ 『私が起こしたい変化』

応募数 世界162カ国から合計21,705点
(子どもの部7,890点、若者の部13,815点)

授賞式 平成30年11月23日（祝・金）日経ホール(東京都千代田区)

文部科学大臣賞 (各1点)

<子どもの部>オールディ・ゴールドディ・クラブ

シュリーナブ・モウジェッシュ・アグラワル

(14歳/インド・ナーグプル市 チャンダ・デヴィ・サラフ・スクール)

<若者の部>人々のためのエンジニアリング

ケント・ハリー・ベレス・クンピオ(22歳/フィリピン・レイテ島 フィリピン大学)

優秀賞 各2点
入 選 各5点
佳 作 各25点
学校特別賞 2校
学校奨励賞 33校

- 選考委員 委員長 千玄室(茶道裏千家前家元、ユネスコ親善大使)
西園寺昌美(五井平和財団会長)
都倉俊一(作曲家、日本音楽著作権協会特別顧問)
松浦晃一郎(アフリカ協会会長、元ユネスコ事務局長)
美内すずえ(漫画家)
矢崎和彦(株式会社フェリシモ代表取締役社長)
葉祥明(絵本作家)

作文コンテスト受賞者による大使館訪問

11月20日 インド大使館

3. 地球っ子広場

(1) 地球っ子広場各地区展開

ユネスコ・持続可能な開発のための教育（ESD）に関するグローバル・アクション・プログラム推進事業として実施

- 活動趣旨 子どもたちが放課後や休日に、広く社会と触れ合える居場所を創設し、保護者、地域の人々が集う、良き地域コミュニティを目指し、生命・平和・環境等を大人と子どもが共に学ぶ広場を運営
- 後援 ユネスコ国内委員会
- 認定事業 ユネスコ本部より「ESDの10年の公式活動」認定を受ける
- 活動実績 ※詳細は、「平成30年度地球っ子広場事業報告」参照

No.	教室名	回数	備考
1	仙台	8回	
2	五井	24回	
3	いすみ	3回	
4	自由が丘	1回	エコまつり・めぐろ2018にブース出展
5	船橋	12回	
6	さむかわ	3回	
7	新潟	36回	
8	富士SUN山	24回	
9	きょう	12回	宇治市木幡公民館子どもの居場所づくり支援事業
10	タカラヅカ	24回	宝塚市桜台小学校、長尾台小学校で開催 宝塚市教育委員会助成事業
11	甲陽園	5回	甲陽園地区青年愛護協議会内組織
12	アース・キッズ・スペース(ケニア)	40回	ナイロビ

(2) 地球っ子キャラバン

東日本大震災の被災した子どもたちを支援するためのプロジェクト

●10月21日(月) ゆりあげ港朝市(宮城県名取市)

参加者90名

特設ステージにて世界への感謝のフラッグセレモニーとミニコンサート

(3) 地球っ子広場研修会

日時: 3月16日(土) 13:00~16:00

会場: 富士市文化会館ロゼシアター(静岡県富士市)

参加者: 7教室19名、オブザーバー2名、スタッフ4名

内容: 各広場からの活動報告、ディスカッション(テーマ「スタッフの高齢化に対応した運営について」)、新教材開発に関するワークショップ

(4) 五井教室とケニア教室の交流(子どもゆめ基金助成事業)

物資不足から本を読む機会のないケニア教室の子どもたちに、五井教室の子どもたちがインターネットのビデオ会議システムを用いて絵本の読み聞かせで交流

日時: 11月17日(土)、3月2日(土) 15:00-17:00

会場: サンプラザ市原(千葉県市原市)

参加者: 五井教室15名、ケニア教室20名

テーマ: 「絵本をつかってアフリカに友だちをつくろう！」

4. ユネスコ活動・ESD（持続可能な開発のための教育）

(1) 持続可能な開発のための教育（ESD）に関するグローバル・アクション・プログラム（GAP）

① GAP ネットワーク会合

主催：ユネスコ本部

日時：2018年4月25日～27日（2泊3日）

会場：国連平和大学（コスタリカ／サンホセ）

内容：ESD最終年2019年の活動計画、GAP終了後のネットワーク協議、ESD実践現場視察ほか

② ユネスコ ESD ユース・コンファレンス「若者が地球を救う」

主催：ユネスコ本部

日時：2018年5月14日～16日（2泊3日）

会場：ユネスコ本部（フランス／パリ）

内容：ESDユースリーダーのグローバルなネットワークの拡大、若者の発信力によるESD知名度の向上、ESDの未来に関する政策方針草案への若者の提言など

③ サステナビリティ円卓会議～ESDにおけるポストGAPに向けたユネスコ国際会合（コスタリカ）報告会～

主催：（公財）ユネスコ・アジア文化センター（ACCU）、（一社）環境パートナーシップ

日時：2018年8月23日

会場：地球環境パートナーシッププラザ（GEOC）セミナースペース

内容：GAPパートナー会合に関する報告ならびにテーマ「世界のESDと日本のこれから」についてのパネルディスカッションに宮崎雅美常務理事が登壇

(2) 社会起業家育成プログラム

ユネスコ・持続可能な開発のための教育（ESD）に関するグローバル・アクション・プログラム推進事業として実施

内 容：国連の持続可能な開発目標（SDGs）の達成に資するアイデアやプロジェクトを募り、若者の社会起業を奨励・育成するオンライン・キャンパスおよびオンライン・コンペティション

主 催：五井平和財団、スティブタング・アントレプレナーシップ財団、デジタル・エキスパートズ・ユナイテッド

後 援：Commonwealth Youth Council、Young Americas Business Trust (YABT)、African Women Power Network、World Assembly of Youth (WAY)、地球憲章インターナショナル (Earth Charter) ほか

資 格：15～35歳

期 間：1月～6月30日

キャンパス参加者：受講者93カ国から1万8000名以上、登録4万4000名

コンペティション応募総数：ベスト・アイデア部門 419件

ベスト・プロジェクト部門 232件

選考方法：ウェブサイト上で最多得票を集めたエントリーにピープルズ・チョイス賞を授与

得票数により、各部門上位10位までのファイナリストの中から

選考委員が最優秀賞、2位、3位を選考

選考委員：ギュンター・ファルティン（ベルリン自由大学教授）

西園寺裕夫（五井平和財団理事長）

クリスティーナ・ラカヨ (Earth Charter コーディネーター)
エディオラ・パショラリ (World Assembly of Youth 事務局長)
ジュリ・サイトウ (UNESCO ESD Section)
ラヴィ・チョウドリー (シーネクスト・コンサルティング& インベストメント会長) 他

授賞式：10月6～7日アントレプレナー・サミット (ベルリン自由大学)
受賞者：最優秀賞、2位、3位、ピープルズ・チョイス賞/各部門1点

<ベスト・アイデア部門>

- 1位 ウォーター・ワット/シャディ・アルズビ (24歳/ヨルダン)
水道パイプの水流の運動エネルギーを利用して発電する装置。再生プラスチックで製造することでプラスチック廃棄物の削減も目指す。ヨルダン・バルカ県
水道公社の許可を受け、現在は実証段階
- ピープルズ チョイス
心肺蘇生法 (CPR) を全ての人に/クラティカ・グプタ (19歳/インド)
心肺蘇生法 (CPR) を学校のカリキュラムに取り入れ、全ての人々が CPR を習得することで、救命措置が必要な人々の命を救うアイデア

<ベスト・プロジェクト部門>

- 1位 “ワリディ” —バラの花/ベノランダ・クボカ (31歳/ケニア)
スワヒリ語でバラの花を意味するワリディは、性とジェンダーに基づく暴力 (SGBV) に苦しむケニアの女性を支援し、SDGs 目標5 (ジェンダー平等を実現しよう) に取り組むプロジェクト
- ピープルズ チョイス
スイフトヒール/シャーゼブ・カーン (16歳/インド)
けがや手術による傷口の余分な体液を吸引することで回復を早める携帯電子機器

(3) 平成30年度日本/ユネスコパートナーシップ事業

事業名：第5回 ESD 日本ユース・コンファレンスの開催ならびに ユース世代のプラットフォーム形成

共 催：文部科学省、日本ユネスコ国内委員会
後 援：環境省、外務省、公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター、
公益社団法人日本ユネスコ協会連盟、ESD 活動支援センター
協 力：特定非営利活動法人 場とつながりラボ home's vi
会 場：邦和セミナープラザ (愛知県名古屋市)
目 的：ユース世代の意見交換、情報共有、ユース世代の意見交換のための
プラットフォーム構築ならびに ESD リーダーの育成

① 第5回 ESD 日本ユース・コンファレンス

日 程：2018年10月13日・14日 (土・日) 1泊2日
参加者：日本国内でESDを実践する18～35歳の若者43名、OB・OG
6名、メンター3名、オブザーバー29名
目 的：ユース世代の意見交換、情報共有、ユース世代の意見交換の
ためのプラットフォーム構築ならびに ESD リーダーの育成

② ESD ユース・メンター相談会

●東京会場

日 時 12月9日 (日) 12:00～16:00 (仮)
会 場 西日暮里 (木の香りの会議室/日能研ビル 2F)
メンター 伊藤通子氏 (東京都市大学)、大塚明氏 (ESD-J)

●名古屋会場

日 時 12月15日(土) 17:00~19:00

会 場 中部大学名古屋キャンパス(鶴舞)

メンター 新海洋子氏(ESD-J)、古澤礼太氏(中部大学)

③ ESD 日本ユース・プラットフォーム会合

日時：平成31年2月17日(日)

参加者：第1回~第5回ESD日本ユース・コンファレンス参加者とその協力者
56名

会場：ビジョンセンター有楽町B・C・D室

内容：第5回ESD日本ユース・コンファレンスで立ち上げた各プロジェクトの
成果発表、実践事例などを学ぶピアラーニング・ワークショップ等

(4) ユネスコスクール支援

- 千葉県立市川昂高等学校「開かれた学校づくり委員会」に委員として参加等
- 奈良教育大学ESD-SDGsコンソーシアム、近畿ESDコンソーシアム主催の全国版ESDティーチャープログラムを4回にわたり支援

(5) ESD岡山アワード

ESD岡山アワードを運営委員会のメンバーとして、岡山市と共催、ならびに
アワード選考委員を担当

附属明細書

平成30年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成31年4月

公益財団法人 五井平和財団